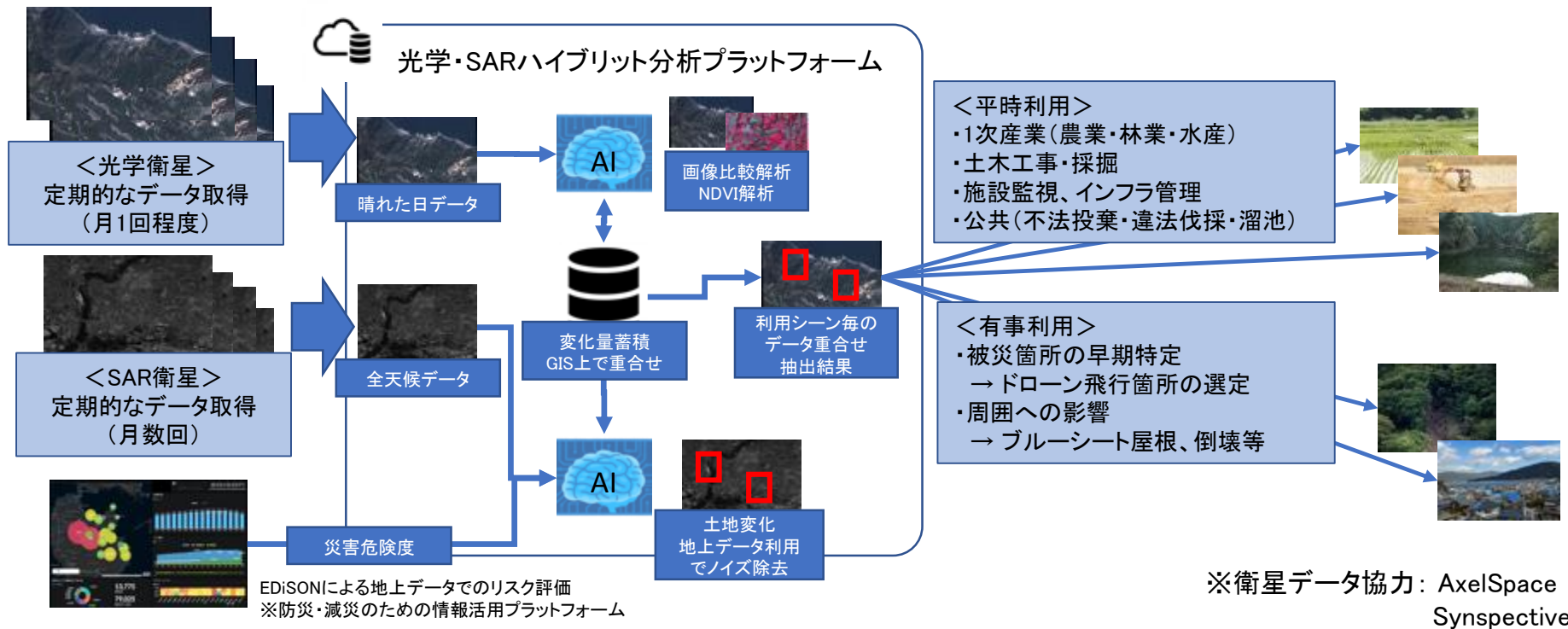


**地域課題・社会実装課題**

- ・自然災害の広域化、インフラ老朽化、一次産業の人手不足など様々な事業が効率化を必要としている。
- ・広範囲の土地の監視には衛星データの活用が期待されているが、衛星の種類により取得できる情報が違いそれぞれのデメリットにより利用が制限されてしまっている。



- ・光学衛星・SAR衛星のデータを定期的に取り得し時系列の土地の動き、地物の差分を抽出。（画像分析、NDVI）
- ・SARでの土地の歪みと、光学での画像、NDVIの変化を掛け合わせ、利用シーン毎に変化場所を抽出する。
- ・災害時はSARの差分と地上データでの発災リスク評価結果（EDISONで抽出）で発災箇所を特定する。  
発災後は光学の画像を活用し周囲の影響などを解析する。

**事業実施主体  
(コンソーシアム) 構成員**

(株) ザイナス (大分市)、SAPジャパン (東京都)、  
大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター (CERD)